

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-7057

(43)公開日 平成6年(1994)1月28日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

G 0 1 N 27/28  
27/416

識別記号

3 2 1 Z 7235-2J

7235-2J

庁内整理番号

F I

G 0 1 N 27/ 46

技術表示箇所

3 7 1 G

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号

実願平4-52763

(22)出願日

平成4年(1992)7月3日

実用新案法第9条において準用する特許法第30条第1項  
適用申請有り 平成4年2月14日、社団法人日本分析化  
学会主催の「イオン電極研究第7号」において文書をも  
って発表

(71)出願人 000217642

電気化学計器株式会社

東京都武蔵野市吉祥寺北町4丁目13番14号

(71)出願人 590002389

静岡県

静岡県静岡市追手町9番6号

(72)考案者 坂井 亜紀

東京都武蔵野市吉祥寺北町4丁目13番14号

電気化学計器株式会社内

(72)考案者 辺見 彰秀

東京都武蔵野市吉祥寺北町4丁目13番14号

電気化学計器株式会社内

(74)代理人 弁理士 畑中 芳実

最終頁に続く

(54)【考案の名称】 染色用漂白液の過酸化水素濃度測定装置

(57)【要約】

【目的】 繊維産業や紙産業で用いる染色用漂白液に含  
まれる過酸化水素濃度を現場において簡易、迅速に精度  
良く自動測定する。

【構成】 酸化還元緩衝液が流れる試薬流路1とキャリ  
ヤ液が流れる試料流路2を設け、これら両流路を合流さ  
せる。また、合流流路5にグラシカーボン製検出端を有  
する酸化還元電極9を備えたフローセル7を介装する。  
試料流路2に試料注入器4から染色用漂白液を注入する  
と合流流路で染色用漂白液と酸化還元緩衝液とが混合  
し、過酸化水素の作用で酸化還元緩衝液の酸化還元電位  
が変動する。この酸化還元電位の変動を酸化還元電極9  
で検出して染色用漂白液中の過酸化水素濃度を測定す  
る。

